

# エアマスター

**重要**

この度は、エアマスターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

以下の内容につきましては、交換作業着手前に必ずご確認ください、宜しくお願いいたします。

## 交換作業時のご注意

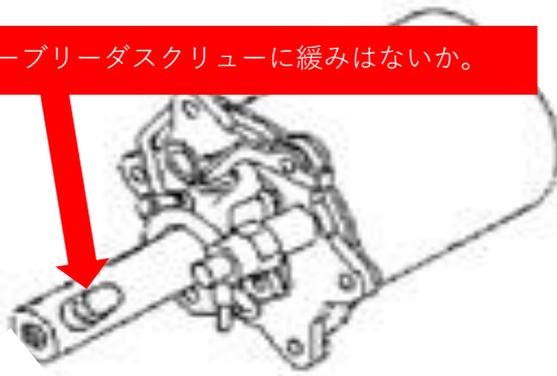
**【オイルライン関連作業】**

(図1)

■エアマスターを交換する際は、**古いブレーキフルードをすべて抜き取ってから作業を開始して下さい。**

→古いフルード内の異物が新しいエアマスターの中に入った場合、油路を詰まらせブレーキ効き不良、レスポンス遅れ等の故障の原因になります。

エアブリーダスクリューに緩みはないか。



**【交換作業】**

■オイルラインにエアが残らないようエア抜きを行って下さい。エア抜き完了後は、確実にエアブリーダスクリューは締めて下さい。(図1参照)

**【エアライン関連】**

2山ほど残し巻く。



**シールテープの巻き方について**

- 1、右回り（時計回り）に巻き付けて下さい。
- 2、2～3回転巻き、ネジ山の先端を2山程残した位置まで巻いて下さい。
- 3、ネジ山に良くなじませて下さい。

巻きすぎは切れ端が内部混入の原因になります。

■シールテープの切れ端混入リスク低減の為、**代替品として「液体シール剤」をおすすめいたします。**

**【交換後】**

■ドラムとライニングの隙間を車両メーカーの基準値に従い調整して下さい。

■作業完了後、エア漏れ、オイル漏れ等がないことをご確認下さい。

**【コア返却】**

■取り外したコアは丁寧な取り扱いと早期返却にご協力をお願いいたします。

## トラブルシューティング

トラブル事例を記載致しました。もし、以下のような現象が発生した場合は、お手数ですがもう一度ご確認の程、宜しくお願いいたします。

現 象	原因と対処方法
ブレーキ効きの悪さ	ドラムとライニングの隙間を再度調整して下さい。 エア混入の可能性がありますので、再度エア抜きを行って下さい。
ブレーキの片効き	ドラムとライニングの隙間を再度調整して下さい。 エアマスターにオイル漏れ/エア混入がないか再度交換下さい。